

WINDOW TREATMENT PLANNER

News Letter

一般社団法人 日本インテリア協会 窓装飾プランナー委員会
〒105-0012 東京都港区芝大門2-1-17 朝川ビル2F
tel:03-3433-4521 fax:03-3433-7860 e-mail: wt-plan@nif.or.jp

<https://www.nif.or.jp>

窓装飾プランナー事務局 発行

Facebook <https://www.facebook.com/windowtp/>
X https://twitter.com/win_tre_planner
Line <https://lin.ee/HI93W2c>

24
2026.APR

2026年1月 M&O・Deco Off・Deco Home展示会レポート

過去が未来を映す

—2026年パリ展示会に見る新作インテリア潮流
—エモーショナル・インテリアの兆し

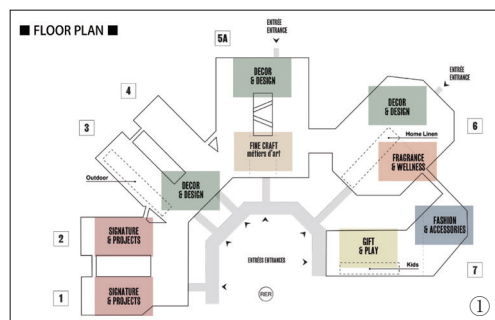
一般社団法人日本テキスタイルデザイン協会 代表理事 大場麻美氏



今年の展示会期間は例年に比べて非常に温暖な気候となりました。前週までは寒波の影響を受けていたものの、会期中はコートが必要としないほどの気候となり、寒暖差とともに気候変動を実感する環境となりました。

はじめに、M&Oの概要についてご報告いたします。2026年1月展（1月15日（木）～19日（月）／パリノール・ヴィルパント見本市会場）では、会場構成が大きく変更され、これまでとは異なる動線計画が採用されています。昨年までとは逆の流れを意識したホール配置となっている点が特徴です。その結果、「SIGNATURE（シグネチャー）」はHall1において、駅から最も近い入口側に位置するレイアウトとなりました（写真①）。

2026年1月のM&O展示会は、



新しくなった会場レイアウト

「Past Reveals Future（過去が未来を映し出す）」をテーマに掲げています。卓越したクラフトマンシップと現代的なデザインの融合を軸に、伝統と革新の関係性を改めて問い直す構成となっています。

会場は本テーマに基づき6つのセクターで構成され、トレンドとイマジネーションが交差する空間として展開されています。新たな切り口として、Gift & Play セクターでは、ペットに特化した最先端ブランドを集めた「PetSquare」が初登場しました。また、Outdoor Living セクターでは、50の国際的ブランドが参加し、屋外ライフスタイルの新たなビジョンを提案しています。

M&Oは、デザインおよびデコレーション分野における新たな潮流を発信する場として、業界関係者にとって重要な指標となる展示会です。リアルイベントとデジタルプラットフォームを融合させることで、アジアを含む世界各国へとその影響力を広げています。本展示会では、過去の伝統と未来の革新をつなぐコンセプトが強く打



ハリー・ヌリエフのインスタレーション

ち出され、来場者に新たな視点とインスピレーションを提供しています。

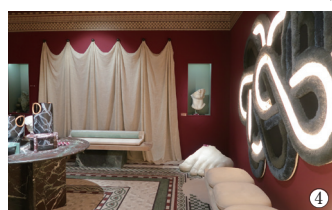
デザイナー・オブ・ザ・イヤーを受賞したハリー・ヌリエフが、「Transformism（変容主義）」をテーマにした空間演出を手がけました。インスタレーションでは、さまざまなアイテムを同一のシルバーフィルムで包むことで、本来の姿に変化を与えています。これにより、日常的な物がコレクターズアイテムのような印象へと昇華され、私たちの生活と物との関係性を改めて問いかける内容となっています（写真②）。

また、M&Oにおけるトレンド発信の中核となる「What's New?」エリアでは、原点に立ち返りながら、未来のデザインを読み解く提案が行われました。

「What's New? In Hospitality」は、Rudy Guénair 氏により構成され、これからのホスピタリ



これからのホスピタリティ



未来のインテリア



小売業の変革がテーマ

ティの在り方を提示しています（写真③）。

「What's New? In Decor」では、Elizabeth Leriche 氏が未来のインテリアのプロトタイプを提示しました（写真④）。

さらに「What's New? In Retail」では、Francois Delclaux 氏が現代の小売業の変革に向けたマニフェストを提案しています。体験型空間や感覚的な要素を取り入れることで、顧客とのエモーショナルなつながりを強化することが求められています（写真⑤）。

各エリアでは、それぞれの分野における最新動向が、M&Oのテーマに沿って紹介されました。（2面につづく）

2026年1月 M&O・Deco Off・Deco Home 展示会レポート(1面から)

続いて、パリ市内で開催された Deco Off / Deco Home の概要についてご報告いたします。

Deco Off / Deco Home は、今年で 16 回目。1 月 14 日 (水) ~ 17 日 (土) の 4 日間の開催でした。参加した登録エディターは 162 ブランドにのぼり、そのうち Deco Off には 94 ブランドが参加しています。

2026 年のテーマは「Behind the Scenes (制作の舞台裏)」です。ブランドのクリエイティブプロセスや背景に焦点を当てた展示が多く、最新トレンドとクラフトマンシップの双方を体感できる内容となりました。また、来場者数も例年を上回り、高い関心を集めるイベントとなっています。

【LELIEVRE PARIS】

LELIEVRE の新作発表は、パリ 8 区・モンソー公園近くに位置する「La Pagode (ラ・パゴッド)」にて開催されました。

LELIEVRE は、新たなアウトドアシリーズ「ÎLES DU VENT (イル・デュ・ヴァン)」を発表しました。

QUENIN では、「FESTIVITÉS (フェスティヴィテ)」を発表。従来の素朴で伝統的なプリント表現から一歩進み、クラシックなモチーフを現代的に再解釈したデザインがジャカードで表現されています。

また、Tassinari & Chatel は、アーカイブの中から「ダリア・ペルレ」と「レ・ローズ」2つの生地が復刻されました (写真⑦⑧)。

【ZINC】

Zinc Textile と Dieter Vander Velpen Architects によるコラボレーションは、パリ左岸の別会場にて発表されました。建築とファブリックを融合させ、テラコッタカラーを基調とした重厚感のある空間を構成しています。サーフェイスと構造の関係性を



います (写真⑥)。

今回は、特別会場を使って新作発表を開催した特に印象的だった 2 ブランドをご紹介します。



意識したデザインが特徴です (写真⑨)。

最後に、M&O・Deco Off・Deco Home 全体を通じた代表的な傾向について、パターン・カラー・クオリティ・スタイルの観点からご報告いたします。

■ PATTERN

今年の特徴として、柄物を積極的に取り入れる流れがより顕著となっています。中でも、重厚感のあるバロック調の更紗柄が多く見られ、装飾性の高い表現が印象的でした (写真⑩)。

■ COLOR

前年に引き続きテラコッタ系のカラーが主流ですが、パリの展示会においては、今年はイエロー系まで広がりを見せています (写真⑪)。

■ QUALITY

前年同様、付加価値を重視するブランドを中心に、天然繊維の使用が増加しています。特にテキスタイルにおいては、触感や表面の質感といったテクスチャーの豊かさが、より重視さ

Baroque Bloom ⑩

重厚感のあるバロック調更紗柄が多く見られた。明るいカラーに仕上げた物は凝った手法で仕上げられている



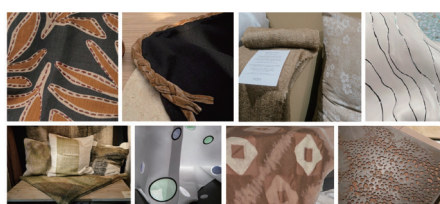
Living Texture ⑫

素材そのものの質感や触感、奥行きを感じさせる表現が増えている。主に天然繊維での展開が多く、特にリネンでは経年劣化の表情も豊かで、指定外繊維では粗野な表情を上品に仕上げている。



The Art of Hybrid Craft ⑬

手作りへの関心はますます高まり、ものづくりへの根底にある人の技と感性が改めて見直されている。機械と手仕事を融合させたハイブリッドな技法も広がりつつあり、テキスタイル分野でも多様な挑戦が見られる。機械化されたプロダクトから生まれる新たなイノベーションにも期待が高まる。



れる傾向にあります (写真⑫)。

■ STYLE

機械技術と手仕事を組み合わせたハイブリッドな手法が広がっており、テキスタイル分野においても多様な試みが見られました (写真⑬)。

これらの傾向を総合すると、「自然・自然素材」「伝統」「装飾性」「サステナブルな暮らし」という 4 つの要素が重なり合いながら、新たなインテリアの方向性が提示されているといえます。

シンプルな美しさから一歩進み、感情やストーリー性を重視した“エモーショナルなインテリア”へと移行している点が、2026 年の展示全体における特徴的な動きと捉えられます。

Saffron Glow ⑪

テラコッタ系を中心としながらも、色域がブラウン～イエローまで広がりを見せている。色相の広がりによって優しいニュアンスが広がっているように感じる。



第45回 JAPANTEX 2026

「インテリアの“これから”がここにある」テーマに
11月18日(水)～20日(金)開催

日本最大級の国際インテリア見本市「第45回 JAPANTEX 2026」(主催：(一社)日本インテリア協会)が、11月18日(水)～20日(金)の3日間、東京ビッグサイト西4ホールにて開催されます。

今回は開催テーマを「インテリアの“これから”がここにある 素材とデザインの新たなカタチ」に刷新、デザイン、サステナ

ブルなど未来を見据えたインテリアエレメントの数々が一堂に集まります。

提案されるのは、カーテン、ブラインド類などのウィンドートリートメントをはじめ、壁紙、床材、デジタルプリント技術、サステナブル製品、伝統工芸品などのインテリア関連製品です。

また企画関連も充実、窓装飾プランナーとICのダブル資格者

が最上級のインテリアデザインを提案する「ウィンドーズ・パラダイス」、卓越した技能者が施工技術を競う「全国技能競技大会」、旬なテーマを掘り下げるセミナー・トークセッションなどを展開、新しい企画も鋭意進行中です。

なお、現在出展者を募集しています。早割申込期限は6月19日(金)、通常期限は7月21日(木)です。ご興味がありましたらご連絡ください(TEL:03-3433-4521)。



第13回 窓装飾プランナー資格試験

CBT方式で9月2日～16日に実施
受験受付期間は7月15日～9月1日

(一社)日本インテリア協会は、「第13回 窓装飾プランナー資格試験」を、9月2日(水)～16日(水)の期間、CBT方式にて全国約340箇所の会場で実施します。

CBT方式とは、全国の試験センターに設置されたPC上で受験する試験方式です。これにより全国どこにお住まいでもお近くの会場で、日程も都合に合わせて受験することが可能です。

受験料は一般(選択式試験+記述式試験/130分)が15,400円(税込)、再チャレンジ(記述式試験/40分・対象者のみ)が12,100円(税込)、アソシエイト(選択式試験/90分・学生対象)が5,500円(税込)。受験申込期間は7月15日(水)～9月1日(火)。合格発表は10月15日(木)予定。

テキスト『窓装飾プランナーBOOK』は「窓装飾プランナー

2026年度 第13回 窓装飾プランナー資格試験 実施概要	
試験期間	2026年9月2日(水) ▶ 9月16日(水)
受験申込み期間	2026年7月15日(水) ▶ 9月1日(火)
受験資格	年齢・性別・学歴・経験は問いません (試験問題は日本語にて出題)
試験会場	全国約340ヶ所
受験料	一般(選択式試験+記述式試験):130分 14,000円(税込15,400円) 再チャレンジ(記述式試験)対象者限定:40分 11,000円(税込12,100円) アソシエイト(選択式試験)学生対象:90分 5,000円(税込5,500円)

スケジュール

受験申込み期	試験期間	合格発表
7月15日(水)～ 9月1日(火)	9月2日(水)～ 9月16日(水)	10月15日(木) 14:00 試験マイページにて

資格制度」ホームページから購入可能です。



メーカーショールーム訪問記 ③

サンゲツ/品川ショールーム

今号では、年間約10万人が来館するインテリア業界屈指の集客力を誇る、(株)サンゲツの品川ショールームに伺いました。

品川ショールームは、全国8カ所を展開するサンゲツショールームのフラッグシップとして、壁紙、化粧フィルム、ビニル床材、カーペット、そしてカーテン、ロールスクリーンといったウィンドートリートメントなど同社が取り扱う約1万2000点の商品サンプルが展示されています。

「ご来館されるのは、プロユーザーをはじめ、住宅メーカー様や設計事務所様からご紹介されたお客様、また近年ではSNSで情報を得てリフォームの検討をされている一般のお客様も増加しています」と語るのは、インテリアアドバイザーの教育を担当する銅直貴江さん。

壁紙のトップブランドとして、来館者の6～7割が壁紙を見に来られるそうですが、そこからカーテンや床材を含めてトータル提

案まで持っていくのがアドバイザーの腕の見せどころです。

「ショールームにご来館されるお客様は、壁紙もデザイン性の高いものを選ばれる方が多くなりますので、それに合ったカーテンをコーディネート提案しています」

ショールーム内もトータルコーディネートされたモデルルームやディスプレイ展示が豊富に展開されています。

「ウィンドートリートメント関連の展示では、入口正面奥にある20窓のディスプレイ展示にご注目ください。オーダー製品で



銅直さん

ですので、さまざまなスタイルをご提案しその魅力を感じていただきたいと思っています。特殊なスタイルもありますが、すべて当社で縫製対応が可能です」

「当ショールームでは、アドバイザーの約半数が窓装飾プランナーの資格を持っています。お客様の好みはもちろん、高層マンションへの防災カーテンの提案、シェードなどスタイルに合った生地提案など、状況に応じてきめ細かく対応いたします。安心してご利用ください」とのことでした。



カーテンエリア



「MORRIS CHRONICLES」のモデルルーム



20窓のスタイル展示

窓装飾プランナー探訪④

窓装飾を体系的に学べる資格 フリーICとして窓装飾を極める

岸智子さん ナチュラルプラン(大阪府和泉市)

大阪府和泉市を拠点に、輸入住宅メーカーや設計事務所などデザインにこだわった建築会社からの紹介で、フリーランスとしてオーダーカーテンを販売しています。バランスや特殊スタイルのカーテンも積極的に提案しています。ご



施工事例

紹介があれば、京都、奈良、和歌山、さらには東京にも伺います。

私がこの世界に入ったのは約20年前です。当時は専業主婦でしたが、あるとき近所に雑貨やカーテン、リフォームを手掛ける素敵なインテリアショップを見つけ、勤めることになりました。

4年ほど勤めた後、諸事情によりオーナーから事業を引き継ぐ形で独立、そこから猛勉強してICの資格を取得しました。また輸入住宅メーカーからオーダーカーテン販売を任されるようになってからはカーテンを主軸とした形態に変化、カーテンについても独学で勉強するようになりました。特に輸入住宅ではバランスの要望が多く、知識不足で悩むことも多々あ

りました。

そうした経験から、カーテンのことをもっと体系的に学びたいと考えていたところ、窓装飾プランナー資格制度が創設されることを知りました。テキストが整備され、基礎が網羅されている点に大きな魅力を感じました。

実は初回の試験は不合格でした。問題数の多さに対応できませんでした。その後、窓装飾をもっと勉強するためスタイリングプロに入会、そこで「窓装飾のプロを目指すなら窓装飾プランナーにならないといけない」と勧められて再挑戦し、無事合格することができました。

資格を取得したことで、スキルアップセミナーにも参加、バランスについてもより詳しく学ぶことができ、自信をもって提案できるようになりました。独学では限界があったからこそ、資格の価値を実感しています。

そのおかげもあって、去年は



岸さん

「ウィンドーズパラダイス」に参加させていただきました。ゼロからデザインを考えるのはとても苦しいことでしたが、ご一緒した木村さん、林さんのようなトップスタイリストの方々でも同じように、いえ、むしろさらに繊細で丁寧な作業を積み重ねていく姿を目の当たりにし、とても感動しました。

私自身ももっと研鑽し、フリーICとして窓装飾を極めたいと思っています。

窓装飾プランナー探訪⑤

テキストは「販売マニュアル」 要尺計算を駆使して信頼を獲得

砂村雅則さん ルドファン(東京都目黒区)

当社は、東京の自由が丘周辺の高級住宅エリアを商圏とし、この地域に住むインテリアへのこだわりが強いお客様に向けて、海外直輸入カーテン、海外ブランドカーテンなど付加価値の高いオーダーカーテンを販売しています。

以前はBtoBをメインにしてきま



高級感溢れる店内

したが、リーマンショック後に取引先の不動産・住宅メーカーが撤退していく中で徐々にBtoCに転換、現在はほぼ100%がユーザー直販、特に掛け替えのお客様が大半を占めています。

掛け替えメインという業態で事業規模を維持するためには、少ない客数で一窓当たりの単価を高めていく必要があります。その一方で、一人ひとりのお客様と徹底的に向き合いながら提案することができます。結果的に良いものが販売でき、お客様の満足度も高くなり、口コミや紹介、リピート受注にもつながっていくことで、今のような業態へと発展しました。

こうした提案・販売をする上で、窓装飾プランナー資格制度はとても役立っています。現在は、私と3名の販売スタッフ全員が窓装飾プランナーです。店内には資格証も掲示し積極的にPRしています。

もともとは独自で販売マニュアルを制作したいと考えていたのですが、情報は膨大で、どこから手を付けていいのかわからず悩んでいました。そうした中で、窓装飾プランナー資格制度がスタートし、テキストを拝見したところ、今までスタッフに口頭で伝えていたようなことがきれいにまとまっていて、十分にマニュアルの代わりになるものでした。第1回目の試験では既存スタッフが復習を兼ねて受験し、以降、新しいスタッフは1年目に必ず挑戦しています。

特に要尺計算は、直輸入生地を扱う当社にとって必須のスキルです。単なる縫製指示にとどまらず、仕様を工夫することで価格を調整することも可能です。こうした視



砂村さん

点を踏まえた提案が、お客様の信頼獲得につながっていると感じています。

遮光や省エネなど窓装飾に求められるニーズが多様化する昨今、今後はさらに窓装飾プランナーの価値が高まるはずで。当社のような実務の現場でも、その有効性を実感しています。メーカーはじめ業界全体として、もっともっと窓装飾プランナーの存在をアピールし、活用していただきたいと思っています。

NIF(一般社団法人日本インテリア協会)とは

一般社団法人日本インテリア協会(NIF)とは、カーテン、カーペット、壁紙、ブラインド等のインテリア製品を取り扱っているインテリアメーカーが集まる業界団体(正会員企業17社、賛助会員52社)です。

正会員企業

ASUHAN



sangetsu

SINCOL



タキロンシーアイ



タチカワブラインド



TOSO

Nichibei

FUKUJI



リリカラ

ロンシル工業株式会社